

まちづくり交付金 事後評価シート  
善行六会西部地区(結果)

平成20年12月

神奈川県藤沢市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	神奈川県	市町村名	藤沢市	地区名	善行六会西部地区			面積	477ha			
交付期間	平成16年度～平成20年度	事後評価実施時期	平成20年度	交付対象事業費	7,745	国費率	0.4					
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名									
	基幹事業		道路事業(藤沢石川線・善行長後線) 地域生活基盤施設事業(防災備蓄倉庫設置事業・防災情報事業)									
	提案事業		地域創造支援事業(消防訓練センター設置事業・埋設型防災簡易トイレ設置事業・防災カメラ設置事業)									
	当初計画から削除した事業		基幹事業		削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
	提案事業		なし									
	新たに追加した事業		基幹事業		災害時の延焼遮断機能を併せ持つオープンスペースとしての緑地を確保する。			指標への影響なし。				
提案事業		地域創造支援事業(防犯カメラ設置事業・連絡通路設置事業)		地域住民が安心して安全に公共施設等を利用できるように監視用カメラ及び駅連絡通路を設置する。			指標への影響なし。					
交付期間の変更		当初	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
変更												
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	広域避難困難区域率	%	34	H15	20未満	H20		○	あり なし	避難路の整備により安全に避難できる区域の拡大が図られた。	平成21年6月1日
	指標2	緊急車両移動時間短縮率	%	100	H15	75	H20		○	あり なし	道路整備により緊急活動時の移動時間の短縮が図られた。(従前の移動時間100%に対して整備後の移動時間が75%)	平成21年6月1日
	指標3	アンケートによる「まち」の安心度チェック	%	24	H16	33	H20		○	あり なし	道路整備による地区内交通の充実や緊急車両活動空間の確保により住民の安心度が高まった。	平成22年3月31日
	指標4									あり なし		
	指標5									あり なし		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1	災害時トイレ容量	日	0	H16					災害時の避難場所となる各学校に防災簡易トイレを合計45基設置したことにより、災害時における地区住民の4.3日のトイレ利用に対応可能となった。		
	その他の数値指標2	災害時避難場所拡大率	%	100	H16					石川丸山緑地を取得したことにより、災害時の避難場所が拡大した。		
	その他の数値指標3	消防訓練センター利用者数	人	0	H16					消防訓練センターにおける訓練の実施による消防団員の技能の向上により、地域防災力の強化が図られた。		
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本大学校舎屋上に消防活動を支える「道具」として防災カメラを設置することで、迅速かつ適切な高いレベルの救援救助活動を可能とした。</li> <li>・都市計画駐車場「六会日大前駅西口自転車等駐車場」に監視用の防犯カメラを設置することで、当該施設における盗難、いたずら、不審火などの課題を解消し、住民が安心して安全に施設を利用できるようになった。</li> <li>・石川丸山緑地を確保し維持保全をすることで、災害時の延焼遮断機能の強化が図られた。</li> <li>・県立北高校跡地に設置した消防訓練センターが地元消防団の消防訓練の場となり、消防団員の技能の向上により、地域防災力の強化が図られた。</li> </ul>											
5)実施過程の評価	モニタリング		実施内容			実施状況			今後の対応方針等			
	なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた						
						都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した						
住民参加プロセス		市に施策提言をする住民組織である「善行くらし・まちづくり会議、六会地区くらし・まちづくり会議」から防災対策の提言を受け、それを反映した施策を実行した。			都市再生整備計画に記載し、実施できた			「善行くらし・まちづくり会議、六会地区くらし・まちづくり会議」で提言に対する市の事業実施状況を確認し、今後も日本大学を含む地域と連携し一般道の整備や防災対策など、まちづくり活動を継続して進めていく。				
持続的なまちづくり体制の構築		なし			都市再生整備計画に記載し、実施できた							
					都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した							
					都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							

## 様式2-2 地区の概要

### 善行六会西部地区(神奈川県藤沢市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
	指標	単位	従前値	従前年度	目標値	目標年度	評価値	評価年度
ひと、みち～地域連携が創り出す～災害に強い安心安全まちづくり ・災害に強いまちづくり ・消防・救急活動を支える安心まちづくり ・人と車の安心まちづくり	広域避難困難区域率	単位：%	34	H15年度	20未満	H20年度	16	H20年度
	緊急車両移動時間短縮率	単位：%	100	H15年度	75	H20年度	75	H20年度
	アンケートによる「まち」の安心度チェック	単位：%	24	H16	33	H20年度	33	H20年度
		単位：		H		H		H
		単位：		H		H		H



まちの課題の変化	・更なる防災の強化及び災害に強いまちづくりの実現のための区域内道路の整備。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	○災害に強い安心安全まちづくり ・都市計画道路以外の区域内道路を整備することにより、広域避難困難区域率の解消を図ります。 ・道路幅幅によらず構造物を生け垣等にすることで、倒壊を防ぎ災害時の避難経路を確保します。 ・消防訓練センターの地元住民による更なる活用により、防災意識の向上を図り災害に強いまちづくりを推進します。 ・災害や防災強化のために道路を整備したことにより新たに発生する課題を、行政と地域住民とで整理し、今後のまちづくりに反映していきます。